

担当：統計課 利活用支援班
 電話：095-895-2222(内)4718
 担当：永尾、岩崎

長崎県のこどもの数

1 こどもの数（15歳未満人口）は14万1千人

長崎県の推計によると、令和8年4月1日現在のこどもの数（15歳未満人口。以下同じ）は、前年に比べ5千人少ない14万1千人でした。

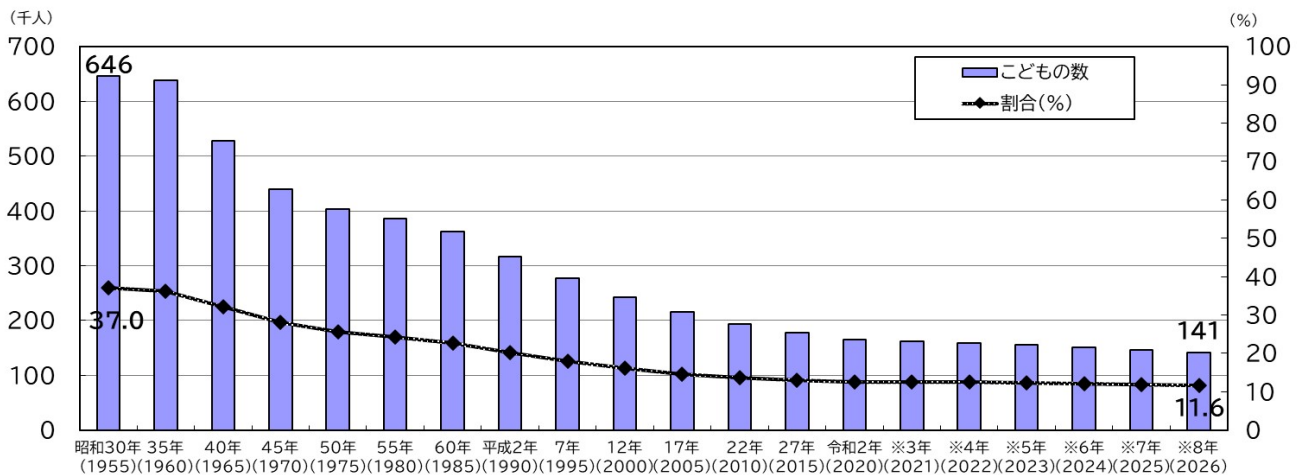
こどもの数のピークは昭和30年の64万6千人で、以降減少が続いています。（表1、図1）

表1 こどもの数

	令和8年 4月1日現在	令和7年 4月1日現在	対前年 増減
こどもの数 (千人)	141	146	△5
総人口 (千人)	1,223	1,239	△16
総人口に占める こどもの割合(%)	11.6	11.9	△0.2

(注) 増減については端数処理により、対前年増減が内訳の差し引きと一致しない場合があります。

図1 こどもの数及び総人口に占める割合の推移



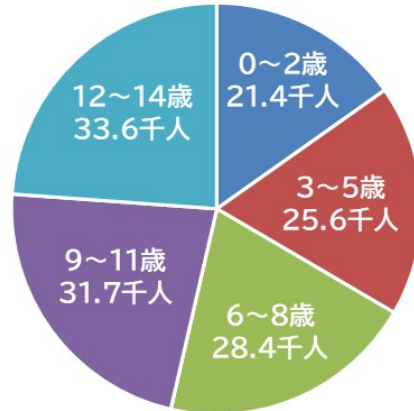
(資料) 昭和30年から令和2年は国勢調査（10月1日現在）、令和3年以降は長崎県による推計人口（4月1日現在）

(注) 割合は総人口から年齢不詳人口を除いて算出

(注) 別途、総務省が公表する「我が国のこどもの数」においては、全国値は4月1日現在となっている。

こどもの数を年齢3歳階級別にみると、0～2歳が2万1千人、3～5歳が2万6千人、小学生の低学年にあたる6～8歳が2万8千人、小学生の高学年にあたる9～11歳が3万2千人、中学生にあたる12～14歳が3万4千人となっており、年齢階級が低くなるほど少なくなる傾向にあります。(図2)

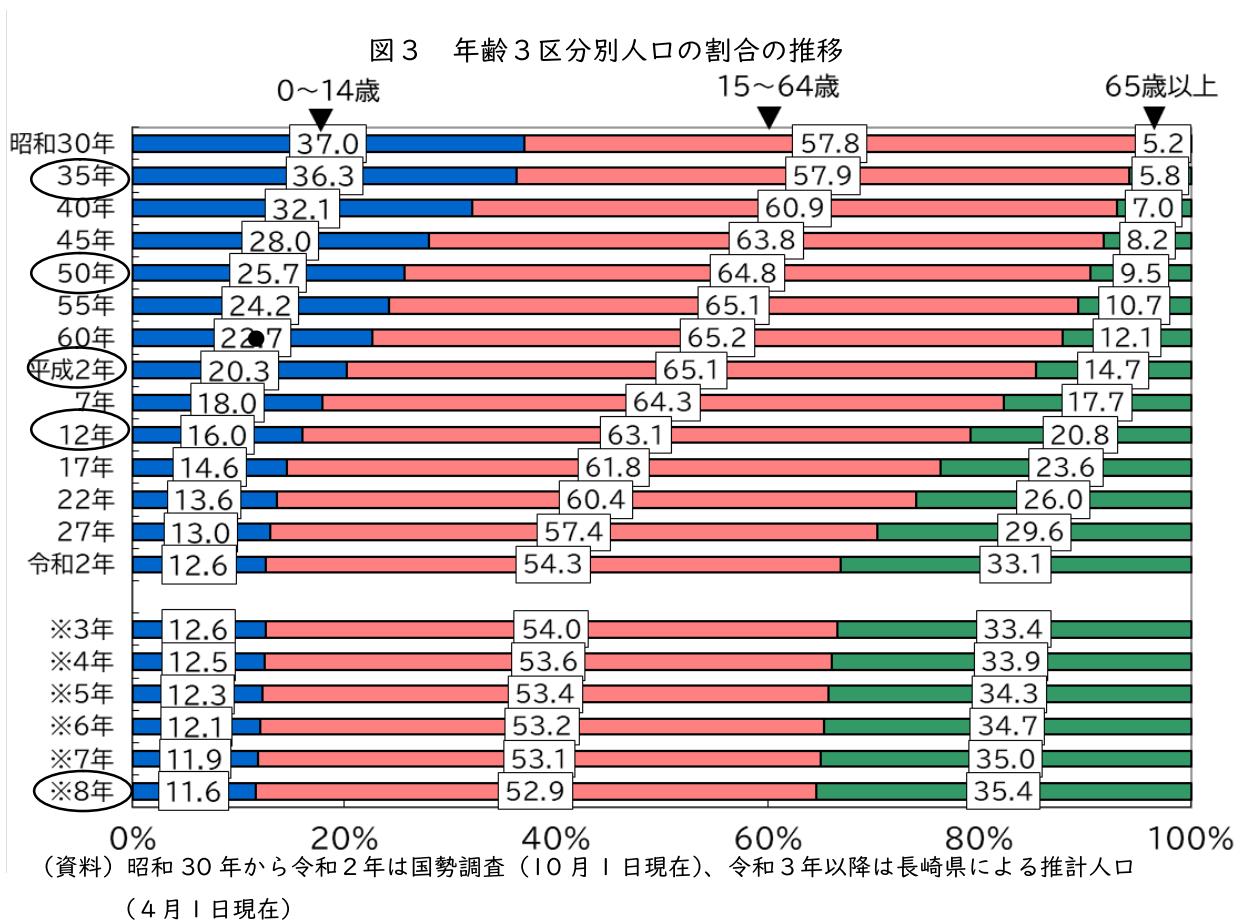
図2 年齢3歳階級別こどもの数(千人)
(令和8年4月1日)



2 こどもの割合は11.6%

こどもの割合は、昭和35年までは総人口の3分の1を超えていましたが、第1次ベビーブーム期(昭和22年～24年)後、出生児数の減少を反映して低下を続け、昭和50年には約4分の1、平成2年には約5分の1となりました。

平成12年には65歳以上人口の割合(20.8%)を下回って16.0%となり、以降も低下を続け、令和8年は11.6%となりました。(図3)



なお、これを未就学の乳幼児(0～5歳)、小学生の年代(6～11歳)、中学生の年代(12～14歳)の3つの区分で見ると、それぞれ4万7千人(総人口の3.9%)、6万人(同5.0%)、3万4千人(同2.8%)となっています。(表2)

表2 年齢3歳階級別こどもの数 (令和8年4月1日現在)

	こどもの数	0~5歳(未就学)		6~11歳(小学生)		12~14歳 (中学生)		
		0~2歳	3~5歳	6~8歳	9~11歳			
人口(千人)	141	47	21	26	60	28	32	34
総人口に占める割合(%)	11.6	3.9	1.8	2.1	5.0	2.3	2.6	2.8

(注) 割合は総人口から年齢不詳人口を除いて算出

<参考>表3 年齢3区分別人口及び割合の推移(人口:人単位)

年次	総人口 (人)	こども (0~14歳)		15~64歳		65歳以上	
		こどもの数	割合(%)	人口	割合(%)	人口	割合(%)
昭和30年 (1955)	1,747,596	646,454	37.0	1,010,131	57.8	90,998	5.2
35年 (1960)	1,760,421	638,850	36.3	1,019,529	57.9	102,042	5.8
40年 (1965)	1,641,245	527,123	32.1	999,303	60.9	114,819	7.0
45年 (1970)	1,570,245	439,298	28.0	1,002,416	63.8	128,531	8.2
50年 (1975)	1,571,912	403,824	25.7	1,019,301	64.8	148,708	9.5
55年 (1980)	1,590,564	385,200	24.2	1,035,278	65.1	169,753	10.7
60年 (1985)	1,593,968	361,823	22.7	1,038,396	65.2	193,605	12.1
平成2年 (1990)	1,562,959	316,761	20.3	1,016,338	65.1	228,991	14.7
7年 (1995)	1,544,934	277,263	18.0	993,783	64.3	273,335	17.7
12年 (2000)	1,516,523	243,046	16.0	956,692	63.1	315,871	20.8
17年 (2005)	1,478,632	215,987	14.6	913,224	61.8	348,820	23.6
22年 (2010)	1,426,779	193,428	13.6	857,416	60.4	369,290	26.0
27年 (2015)	1,377,187	177,562	13.0	784,862	57.4	404,686	29.6
令和2年 (2020)	1,312,317	164,303	12.6	706,077	54.3	430,353	33.1
※3年 (2021)	1,300,916	162,175	12.6	696,152	54.0	431,010	33.4
※4年 (2022)	1,284,787	158,866	12.5	682,392	53.6	431,949	33.9
※5年 (2023)	1,270,358	155,093	12.3	672,416	53.4	431,274	34.3
※6年 (2024)	1,254,499	150,261	12.1	661,696	53.2	430,970	34.7
※7年 (2025)	1,238,888	145,659	11.9	652,021	53.1	429,640	35.0
※8年 (2026)	1,222,727	140,800	11.6	641,208	52.9	429,151	35.4

(資料) 昭和30年から令和2年は国勢調査(10月1日現在)、令和3年以降は長崎県による推計人口(4月1日現在)

(注) 割合は総人口から年齢不詳人口を除いて算出